

2026 年度龍谷大学図書館特別展観
2026 RYUKOKU UNIVERSITY LIBRARY SPECIAL EXHIBITION



Nikkei Hōrin
and the
Buddhist Academy
(Gakurin)

日溪法霖と 学林

2026

10/15^(木) - 10/22^(木)

10:00 - 17:00 (最終入場16:30)

龍谷大学大宮キャンパス

本館 1 階展観室

Exhibition Room, 1st Floor, Main Building
Omiya Campus, Ryukoku University

【入場無料】

Free admission



龍谷大学図書館・龍谷教学会議・世界仏教文化研究センター共催

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

There is no parking lot. Please use public transportation.

西本願寺の教学研鑽機関の1つである宗学院は、2024年に100周年を迎えました。
これを記念して、特別展観「日溪法霖と学林」（につけいほうりんとかくりん）を開催します。
学林は、今日の龍谷大学の前身にあたり、江戸時代西本願寺の教学研鑽機関として多くの
学僧が集いました。
本展では学林の指導者的立場であった能化（のうけ）の第4代であった日溪法霖に焦点を当て、
法霖の資料ならびに法霖が活躍した場である学林に関する資料などを紹介いたします。

2026年度 龍谷大学図書館特別展観

日溪法霖と学林

第一章 「学林と法霖く先哲の歩み」

日溪法霖は、学林（江戸時代の本願寺派における教育研究機関）において、
若き日に学び、やがて指導者的立場である能化職として学林の発展に尽力した。

この章では、学林とその前身である学寮に関する記録類や、法霖の先哲及びその著書などについて紹介する。

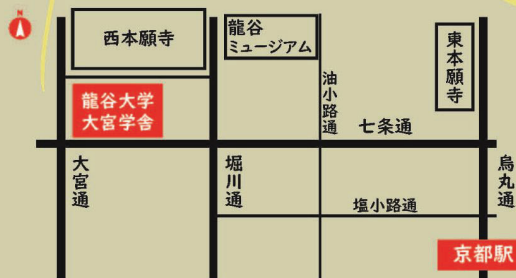
第二章 「法霖の著述く教義を伝え護る」

法霖はその生涯において、数多くの著述を遺しており、現在でも大きな影響を与えている。

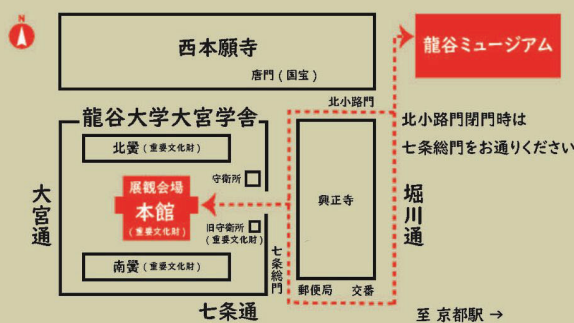
著述は教義の研究に関するもの、子弟の教育に関するもの、教義に異論を唱える者への反駁書など多岐に及んでいる。
この章では、法霖の様々な著述について紹介する。

第三章 「鳳潭く法霖の論敵・知己」

華嚴宗の学僧である鳳潭は、華嚴宗の復興に尽力したことで知られる。興福寺や東大寺などで諸宗を学び、
新機軸を打ち出し、華嚴・三論・俱舍などについて多くの著書を残しているが、他宗の僧侶と論争も重ねた。
法霖とも互いの著述を通じて論を応酬したが、やがては互いを認め合う仲となった。
この章では、鳳潭の著述について紹介する。



◆各線「京都」駅から北西へ徒歩約15分◆



◆大宮キャンパス⇄龍谷ミュージアムは徒歩約5分◆

龍谷大学大宮キャンパスへのアクセス

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

There is no parking lot. Please use public transportation

Getting to Ryukoku University Omiya Campus

https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_omiya.html

〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1
TEL 075-343-3462

